

## 日本先天代謝異常学会 令和2年理事会議事録

日時：2020（令和2）年4月11日

13：00-15：00

場所：Web カンファレンス

（参加者：五十音順、敬称略）

理事：石毛 美夏、伊藤 哲哉、大竹 明、大橋 十也

奥山 虎之、窪田 満、呉 繁夫、小林 正久

酒井 規夫、高橋 勉、中村 公俊、村山 圭

監事：井田 博幸、鈴木 康之

幹事：笹井 英雄、小須賀 基通

### A. 奥山虎之理事長より挨拶

理事の半分以上が参加しており、理事会の開催要件を満たしていることが報告された。

### B. 審議事項

#### 1. 2020年度予算について

2019年度会計（決算）報告は、次の理事会での報告とすることになった。2020年度予算案では、昨年度から新たに計上された個人情報の外部委託、オンラインジャーナル発行および患者登録システム移行の費用により、他の支出および収入が昨年通りであれば80万から100万円ほどの持ち出しとなる見込みであるが、秋の学会総会開催および患者登録システム費用負担の状況により収支バランスが変わる可能性があることが報告された。本予算案については理事会の承認を得た。

#### 2. 会則第4条について（事務局所在地の変更について）

会則第4条上の事務局所在地は岐阜大学となっているが、学会の銀行口座の移動のために、会則上の事務局所在地を国立成育医療研究センターに

変更することが必要であることについて、理事会での審議が諮られた。会則改正となるため、本来ならば学会総会での承認が必要となるが、年度途中の事務局変更であること、学会事務局の運営業務に支障を来たすことなど勘案し、理事会で会則変更を承認した。この会則変更については、本年度学会総会においても承認を得ることとする。

#### 3. 今年度の代謝セミナー開催と代謝セミナー実行委員会の口座名義について

代謝セミナーの収支・会計は、これまで学会理事長名義の口座を用いて実施していたが、今年度からは代謝セミナー実行委員長名義で行うことが提案された。学会と別名義の口座での管理について、税理士に問題ないことを理事長が確認することになった。またセミナー実行委員長の中村公俊理事より、今年度の代謝セミナーはweb上で開催し、参加費は例年より値下げして実施する方針であることが報告された。

#### 4. 役員の改正

庶務幹事に小須賀基通先生（国立成育医療研究センター）を加え、現行の庶務幹事である笹井英雄先生（岐阜大学）は、事務局の引き継ぎが終了するまでは併任していただくことが承認された。

#### 5. 委員会の再構成

委員会の再構成の報告に先だって、東京慈恵会医科大学小児科小林正久先生が新理事になったことが報告され、ご本人から挨拶を頂いた。

①2020年2月29日に行われた臨時理事会で討議された委員会の再構成について、以下の委員の変更についての提案に対して、理事会での承認を得た。

・国際渉外委員会：委員長を深尾敏幸前理事長から奥山虎之理事長に変更

- ・倫理・用語・利益相反委員会：副委員長から奥山虎之理事長が退任する
- ・患者登録委員会：委員長を深尾敏幸前理事長から酒井規夫理事に変更
- ・特殊検査適正化委員会：委員長を奥山虎之理事長から村山圭理事に変更
- ・臨床研究推進委員会：委員長を奥山虎之理事長から大竹明理事に変更
- ・新理事の小林正久理事が社会保険委員会、診断基準・診療ガイドライン委員会、移行期医療委員会および法人化ワーキンググループの副委員長に就任する

②法人化ワーキンググループの立ち上げについて  
学会の法人化について検討するワーキンググループ（委員長：大橋十也理事、副委員長：小林正久理事、廣瀬伸一評議員、委員：濱崎考史評議員）の立ち上げについて承認された。法人化ワーキンググループは、学会の法人化のメリット・デメリットなどについて検討し、秋の理事会までに答申をまとめることにした。

## 6. 第 62 回日本先天代謝異常学会総会の開催について

今年度開催予定の第 62 回日本先天代謝異常学会総会大会長の中村公俊理事より、新型コロナウイルス感染拡大による影響で、現状では抄録が集まらないことが懸念されること、すでに同時期に予定されている他学会が延期・中止されることなどが報告され、今年度の学会総会開催に関する討議の依頼があった。討議の結果、今年度の学会総会の開催および学会雑誌の発刊については、大会長の中村公俊理事に判断を一任し、4月中に決定していただくこととなった。

## 7. 国際先天代謝異常学会(ICIEM2025) の日本招致について

ICIEM 準備委員会の委員長を務めておられた深尾前理事長の急逝を受けて、2025 年の ICIEM 日本招致に関する今後の方針について審議された。その結果、2025 年の ICIEM 日本開催の招致活動を継続していくことが確認され、新たな準備委員会委員長として中村公俊理事が選出され、副委員長に村山圭理事、アドバイザーに奥山虎之理事長が準備委員会に新たに加わる事が決定した。

## 8. 次回の理事会日程・場所・方法について

次回の理事会は、2020 年 8 月 22 日（日本小児科学会学術集会期間中）午後 1 時もしくは 2 時、神戸市にて対面で実施する予定であるが、状況によっては Web カンファレンスあるいはハイブリッド参加となる可能性もある。また次回理事会で 2019 年決算、各種委員会活動、ICIEM 招致活動状況の報告を行う予定である。本年秋の総会（学術集会）は中止となったが、例年通り理事会、評議員会、総会は今秋に対面で実施する予定である。

## 9. その他

- ・小児外科学会からの当学会編集のガイドラインの引用許可について  
日本小児外科学会ガイドライン委員会より、小児外科学会ホームページ (<http://www.jsps.or.jp/login/member-cont>) の会員専用ページに「新生児マスキリーニング対象疾患等診療ガイドライン」をリンクさせて頂きたいとの依頼があり、本件については理事会で承認された。
- ・特殊ミルク治療ガイドラインが診断と治療社より発売されたことが報告された。
- ・ニュースレターは今年を例年通り発刊することが確認された。